

第一の極相	第二の極相
	<p>死への恐怖 = 苦しみへの恐怖 生の終わり ↓ 死に臨んだ苦痛の状態と しての生への恐怖 × 苦しみの終わり 生きていることの証 死は未知 死への恐怖 = ヒトが人間であることの 明証</p>
<p>第三人称の死 = 私にとっての消滅 私の死 = 第三者にとっての消滅</p>	<p>(消極的理由) 私の死 = 完全な孤絶の中で体験する 逆説 = 消極的 生の世界 = 人同士の間の関係性</p>
<p>楽器 ・ 身体の拡大 車の外壁 ・ 身体の一部 鉄棒 ・ 他者の模倣による身体的 支配の獲得</p>	<p>(積極的理由) 知性による理解 — × 西欧近代思想 = 孤絶性 現実体験 = 人との関係性</p> <p>母子関係 分離しない「我々」意識 前個我的「我々」 ↓ 第二人称 分極化 ↓ 第一人称 「僕」を僕としてとらえ 個我 主体的集合体としての「我々」 恋人同士の没我的抱擁</p>